



とつきよの教育

第89号
中学校版
平成21年9月



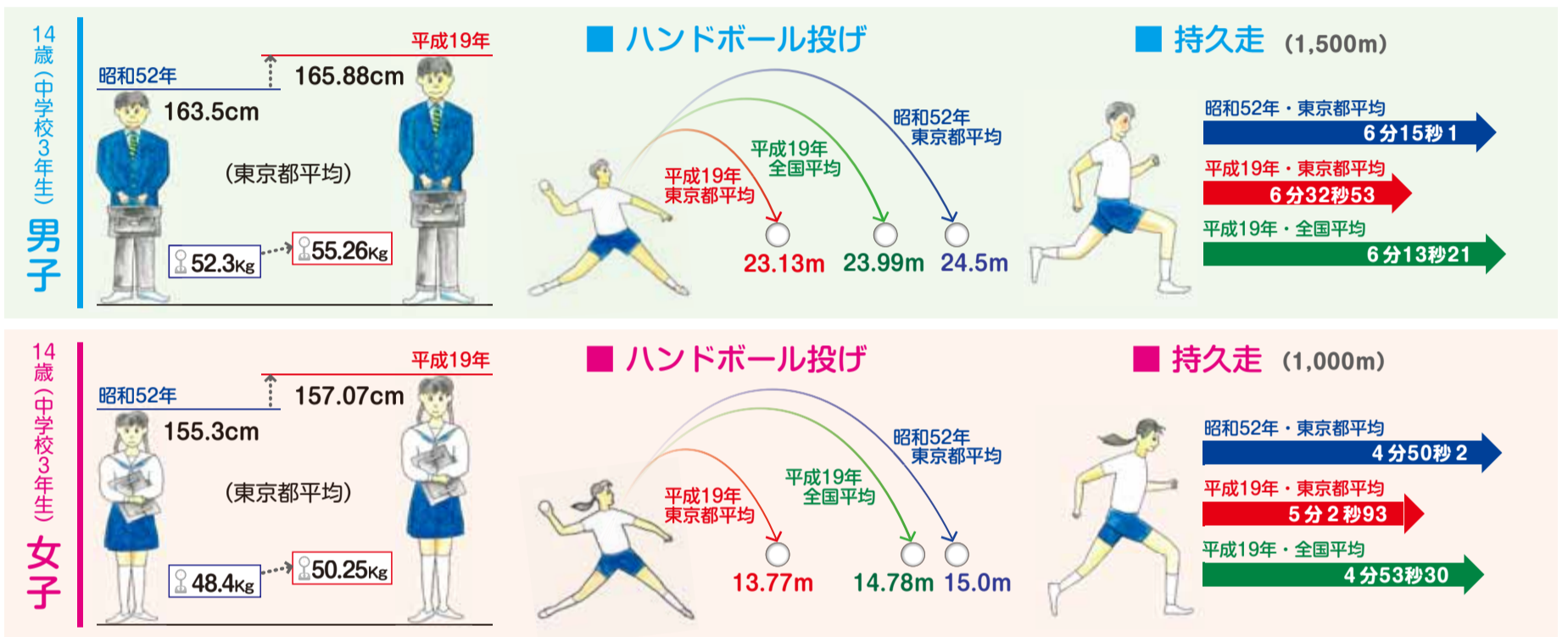
東京都教育委員会

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

中学生の体力、今のままで大丈夫？

東京の中学生の体力テスト平均値は、すべての種目で全国平均値を下回っています。

(文部科学省平成20年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による)



30年前と比べ子供たちのからだが大きくなった一方、体力・運動能力が低下しています。

日常的に体を動かす時間・場所・機会の減少

生活の利便化

環境・生活文化・ライフスタイルの変化

東京の子供たち

東京の子供たちの体力は低下傾向にあり、積極的に運動する子供とほとんど運動しない子供の体力の差は、年齢が進むにつれて拡大していきます。

心身の発達が著しい小学生から高校生の時期にかけて、運動する習慣と規則正しい生活習慣を身に付けて継続していくことが、生涯にわたって健康な体づくりを実現する基礎になります。



2016年 オリンピック・パラリンピックを日本に

「一生懸命になれるもの」 見つけてほしい



東京都と心の東京革命推進協議会（青少年育成協会）では、スポーツを通じた「あいさつ運動」の推進を目的とした「あいさつ運動チャレンジプロジェクト」を都内各地で実施しています。6月12日には、トランポリン男子の北京オリンピック日本代表 上山 容弘 選手が小平市立小平第六小学校を訪れて5年生の児童と交流し、トークショーのほかトランポリンの実技を披露しました。

会場の大きなトランポリン台で上山選手が2回宙返り3回ひねりを披露すると、児童たちの歓声が響きました。その後、参加した児童全員が、上山選手と一緒にトランポリンを体験し、楽しそうに体を弾ませていました。

上山選手は、この交流会を通じて、「あいさつの大切さ」「新しいことは最初難しいけれど、チャレンジすることが大切」「自分が一生懸命になれるものを何か見つけてほしい」というメッセージを児童たちに送りました。

オリンピックは、世界最大のスポーツの祭典です。世界一や記録に挑戦する選手たちの姿は、子供たちを含め人々に夢と感動を与えます。今年の10月、2016年オリンピック・パラリンピック開催都市が決定されます。これからも都民の皆様の御支援をお願いします。

お問い合わせ

東京オリンピック・パラリンピック招致本部 ☎03(5388)2861 (招致に関すること)

青少年・治安対策本部総合対策部青少年課 ☎03(5388)3187 (「あいさつ運動」に関すること)

東京2009 アジアユースパラゲームズ

9月11日(金)～13日(日) 開催!!

この大会は、アジアの障害のある青少年が、陸上、水泳、卓球などの種目を競い合う国際総合競技大会で、世界的にも例が少ないユースの大会です。

アジアから約30ヶ国・地域の14歳～19歳の青少年が東京に集結し、10日の開会式を皮切りに、国立霞ヶ丘競技場等、都内6会場で熱い戦いが繰り広げられます。

本番まであとわずかになり、選手達の期待感と緊張感は最高潮に高まっています。

入場無料！皆様のご来場お待ちしております。詳しくはホームページを御覧ください！

<http://www.tokyo2009.jp>



子供たちの体力向上に向けて

体力とは？



体力は、健康的な生活を送るための土台であり、運動やスポーツをする能力だけでなく、意志や意欲など精神面にも影響を及ぼす「生きる力」の重要な要素です。



体力づくりはなぜ必要？



体力は「からだ」と「こころ」を支えています。

筋力を高める → 運動能力が向上します

筋力は「走る」「跳ぶ」「投げる」などの基本動作の大切な要素です。すばやい動きをしたり、良い姿勢を保ったりするためにも必要です。筋力を高めると、効率よく運動技能を高めることができます。

持久力を高める → 疲れにくいからだになります

「走る」「跳ぶ」などの運動によって、心臓や肺の働きが高まり、持久力が高まります。持久力は、長い時間運動を続けることができる体や、疲労からの回復が早い体を作る大切な要素です。

ケガや病気になりにくいからだになります

体力をつけることは、ケガの防止につながります。体力が高まることで、病気に対する抵抗力や、環境変化への適応力が高まります。

ストレスを解消し、脳の働きを高めます

運動をすることが、「心の疲れや緊張」を解消・軽減することにもつながります。また、運動をすることによって、脳が刺激され、学習にもよい影響を与えます。



体力は、生涯にわたって健康的な生活を送るための土台となっています。

次代の東京を担う心身ともにたくましい子供たちを育てるため、これからもさまざまな取組を進めていきます

部活動の振興

平成 25 年東京国体開催を見すえた競技力の向上を図ります。

- **中学生 20 種目、高校生 40 種目の強化練習会**
国体種目の強化練習を実施し、計画的な競技力向上を図ります。
- **スーパーバイザーの派遣**
都立高校 30 校にスポーツドクターやトレーナー、栄養士などの専門家を派遣します。
- **競技人口の少ない種目の指導者講習会**
競技人口が少なく指導者がいない種目の顧問教諭を育成します。
- **国体強化部活動候補の指定**
国体開催県フルエントリーに向けて、競技人口の少ない種目の強化部活動候補を指定し、練習・指導環境を整備します。



スポーツ教育の推進

新しい学習指導要領によるスポーツ教育と、オリンピック教育を推進します。

- **スポーツ教育推進校 200 校の指定**
積極的に運動やスポーツに親しみ、心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献する児童・生徒を育成する学校の取組を積極的に推進します。
- **スポーツ教育推進校の人的措置**
スポーツ教育推進校のうち小学校 39 校・中学校 15 校に体育専門の講師を配置し、学校体育を一層充実します。
- **アスリート派遣事業の実施**
実績あるアスリートを学校や部活動に派遣し、児童・生徒が直接交流を通してその生き方や考え方に触れ、夢を育て意欲を高めるとともに、競技力の向上を図ります。
- **オリンピック学習読本の活用**
学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、オリンピック立候補都市として、スポーツに親しむ児童・生徒を育成します。



体力向上への取組

子供の体力向上推進本部を設置し、体力向上に向けた総合対策を講じます。

- **区市町村教育委員会体力向上推進部会**
体力向上担当者間の連絡会を開催し、小・中学校の体力向上の取組を強化します。
- **専門家会議や他県の取組の研究分析**
専門家による現状分析や他道府県の取組の研究を行い、具体的な体力向上施策を検討します。
- **体力向上キャンペーン**
中学生「東京駅伝」開催をはじめとして、子供や保護者にむけた体力向上への意識を高めるキャンペーンを行います。



Tips!

生活習慣の確立のために・・・

生活習慣を改善することにより、生活習慣病（食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が発症、進行にかかわる病気の総称）を発病する危険性を少なくすることができます。

強い体を作るためにも、日ごろから、食事、運動、休養及び睡眠の調和の取れた生活を心掛け、**子供のころから健康的な生活習慣を確立していくことが大切です。**



バランスの良い食事で、健康な体の基礎づくりをしましょう

Information

平成 21 年度の「東京都教育の日」は、この「**体力づくり**」をテーマに、事業を展開していきます。10 月及び 11 月に、さまざまな催しを行います。詳細は東京都教育委員会ホームページを御覧ください。



東京都教育の日

検索

平成 22 年度に新しく誕生する都立学校を紹介します!

東京都教育委員会では、都立高校改革推進計画及び東京都特別支援教育推進計画に基づき、都立学校改革を推進しています。

平成 22 年度は、新しく都立高等学校 3 校・特別支援学校 2 校が開校します。

また、新たに 4 校の都立中高一貫教育校が開校します(都立中高一貫校は、小学校版で紹介しています。)

- ※ 開校する学校名につきましては、東京都立学校設置条例の一部を改正する条例が公布されるまでは、仮称の扱いになります。
- ※ 条例改正以降に、ホームページアドレス等が変更される可能性があります。最新情報は、東京都教育委員会ホームページにて御確認ください。

小金井地区科学技術高校 (仮称) 大学進学を実現する科学の夢あふれる高校

小金井地区科学技術高校(仮称)は、科学技術に関する広い視野、基礎力、意欲を育てるとともに、基礎学力を確実に身に付け、生徒が希望する理系大学等への進学を実現する高校です。



科学する心、先端技術の面白さ、創造する楽しさ、科学に触れ合う日々から、科学技術立国である日本の中核を担い、国際社会で活躍できる人材を育成します。

- 学校の特徴
- ① 理系大学への進学を目指す充実した学習指導
 - ② 科学技術の基礎から先端領域まで、幅広い科学観を育成
 - ③ 科学への夢や探究心が大きく広がる科学技術アドバイザー制度

◆開校予定地 小金井市本町 6-8-9 JR 中央線「武蔵小金井」駅 徒歩 8 分
◆問い合わせ先 小金井地区科学技術高校(仮称)開設準備室 電話 042-381-4164
Eメール S8000806@section.metro.tokyo.jp
HP <http://www.koganei-st-j.metro.tokyo.jp/>

久我山学園特別支援学校 (仮称)

久我山学園特別支援学校(仮称)は、視覚障害教育部門(幼・小・中)と知的障害教育部門(小・中)を併置することにより、両教育部門における専門性の高い教員が連携し、児童・生徒の個々の発達段階に応じた指導の充実を図る特別支援学校です。



幼児・児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性に応じた教育を推進することにより、個性を尊重し、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、自立し社会参加できる人材を育成します。

また、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域社会・保護者に信頼される開かれた学校づくりを推進していきます。

通学区域 視覚障害教育部門：都内全域 知的障害教育部門：世田谷区の一部
◆開校予定地 世田谷区北烏山 4-37-1 京王線の頭線「久我山」駅 徒歩 12 分
◆問い合わせ先 久我山学園特別支援学校(仮称)開設準備室 電話 03-3300-6235
Eメール S1000311@section.metro.tokyo.jp

都立高等学校 Q & A

～代表的な疑問にお答えします～

Q1 都立高校の 1 年間の授業料を教えてください。

A 平成 22 年 4 月に入学される方の場合、表のとおりです。入学料及び授業料の納入が経済的に困難な家庭については、免除又は 2 分の 1 減額する制度があります。ただし、通信制課程授業料(受講料)については、減免制度の対象外です。詳細は各学校に御相談ください。

なお、各学校では、このほかに修学旅行や教材の購入費が別途必要になる場合があります。これらの費用は、減額・免除制度はありません。

全日制	年額 122,400 円
定時制	年額 33,360 円
単位制	1 単位あたり 1,800 円
通信制	1 科目あたり 900 円

Q2 都立高校生向けの奨学金はありますか。

A (財)東京都私学財団(03-5206-7929)が貸付けを行っている東京教育英資金があります。これは、経済的理由により就学が困難な生徒のための奨学金であり、高校在学中に申請する一般募集と中学 3 年生のときに申請する予約募集があります。

詳細については、在学中の中学校の先生又は東京都私学財団までお問い合わせください。

Q3 都立高校は色々な種類がありますが、詳しく知るにはどうしたらいいですか?

A 東京都教育委員会では、生徒一人一人の能力や適性、興味・関心、進路希望等に応じて学ぶことができるよう、既設の学校の特色化や新しいタイプの都立高校の開設を進めてきました。都立高校の具体的な種類と内容は、今年 6 月に発行している「平成 22 年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」という冊子で詳しく説明していますので、学校選びの御参考に是非御覧ください(冊子の 8 ページには一覧表も掲載しています。)

Q4 入学したい高校を見学することはできますか?

A 都立高等学校では、土曜日などに授業公開や学校説明会を行っています。文化祭や体育祭などの学校行事について公開している学校もあります。

各学校が予定している授業公開や学校説明会の日程は、東京都教育委員会のホームページに一覧を掲載しているほか、各学校のホームページでも掲載しています。見学の申込みなど、詳しくは各学校に直接お問い合わせください。

総合芸術高校 (仮称) 都立で唯一の芸術分野に関する専門高校

総合芸術高校(仮称)は、芸術高校の伝統と実績を継承し、音楽科、美術科に加え、新たに舞台表現科を設置する芸術の専門高校です。美術科には映像メディア表現の専攻を設けます。



高度な技術や知識が修得できる専門科目を設置するとともに、芸術全般に関する考え方などを学習する総合的な科目を配置し、幅広い視野に立った芸術活動を行うための資質や能力を育成します。

- 音楽科 器楽(ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器など)、声楽、楽理、作曲の各専攻
▶ 目黒区大橋 2-18-58 京王線の頭線「駒場東大前」駅 徒歩 8 分
- 美術科 絵画(日本画、油彩画)、立体造形(彫刻)、デザイン、映像メディア表現の各専攻
- 舞台表現科 演劇・舞踊の専攻
▶ 新宿区矢来町 6 都営大江戸線「牛込神楽坂」駅 徒歩 7 分

※音楽科、美術科、舞台表現科とも、平成 23 年度中に新宿区富久町 22-1 に移転予定
◆問い合わせ先 総合芸術高校(仮称)開設準備室 電話 03-5465-0122
Eメール S8000807@section.metro.tokyo.jp
HP <http://www.sogo-geijutsu-j.metro.tokyo.jp/>

町田地区総合学科高校 (仮称) 「暮らし」「ひと」「まち」「自然」を学べる総合学科高校

町田地区総合学科高校(仮称)は、「暮らし」「ひと」「まち」「自然」にかかわる 4 系列をもち、100 を超える選択科目の中から自分だけの時間割で学ぶことができる高校です。



「探求」「生活と資源・環境」「日本文化」などの特色ある科目を中心に、参加型・探究型授業により勉強の楽しさを実感できる学校です。

- 学校の特徴
- ① 100 を超える選択科目から、自分の興味・関心にそった時間割を作成
 - ② 朝学習や少人数授業など、きめ細かい教科指導
 - ③ 将来の職業選択を視野に入れ、キャリアカウンセラーが時間割作りから進路に関する相談まで、優しく丁寧に対応

◆開校予定地 町田市木曾町 18-2276 JR 横浜線・小田急小田原線「町田」駅よりバス 14 分「忠生高校前」下車
◆問い合わせ先 町田地区総合学科高校(仮称)開設準備室 電話 042-722-5458
Eメール S8000805@section.metro.tokyo.jp
HP <http://www.machida-sogo-j.metro.tokyo.jp/>

南多摩地区学園養護学校 (仮称)

南多摩地区学園養護学校(仮称)は、知的障害が軽い生徒を対象として、企業就労に向けた専門的な教育を行う知的障害教育部門(高等部)の特別支援学校です。高等部職業学科(就業技術科(仮称))単独の学校で、通学区域を設けず、都内全域から生徒を募集します。



生徒全員の企業就労を推進することにより、自己実現と職業的自立を促進し、社会に貢献できる人材を育成します。

また、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域の関係機関と連携した学校経営を行い、地域社会・保護者に信頼される開かれた学校づくりを推進します。

通学区域 都内全域 生徒規模 各学年 10 学級(100 人)で 3 学年合計 30 学級(300 人)
入学相談 詳細は特別支援教育推進室(4 ページに掲載)までお問い合わせください

◆開校予定地 八王子市南大沢 5-28 京王相模原線「南大沢」駅より京王バス 5 分・下車徒歩 1 分
◆問い合わせ先 南多摩地区学園養護学校(仮称)開設準備室 電話 042-675-6225
HP http://www.minamiosawa-sh.metro.tokyo.jp/minamitamama/top_index.html

都立高等学校等合同説明会を開催します

都立高校等が一堂に会し、説明会を開催します。個別の相談コーナーで、希望する学校の教職員に直接質問や相談ができます。志望校への理解を深める良い機会です。是非お越しください。

なお、会場ごとの参加校については 9 月末に学校を通じてリーフレットをお配りするほか、東京都教育委員会のホームページ上でも公開する予定です。

◆ 合同説明会スケジュール ◆

- 第 1 回 10 月 25 日(日) 開催場所 都立新宿高校
- 第 2 回 11 月 1 日(日) 開催場所 都立立川高校
- 第 3 回 11 月 8 日(日) 開催場所 都立墨田川高校

- ※ 各回とも午前 10 時から午後 4 時まで(最終入場時間午後 3 時 40 分)
- ※ 新宿高校・墨田川高校は上履きを御持参ください。

お問い合わせ 都立学校教育部高等学校教育課 ☎ 03-5320-6742

【平成 22 年度都立高等学校入試日程】

区 分	推薦に基づく入試	学力検査に基づく入試	
		第一次募集・分割前期募集	分割後募集・全日制第二次募集
種 別	高等学校	高等学校(全日制及び定時制)	高等学校(全日制及び一部の定時制)
出 願	1 月 22 日(金)	2 月 5 日(金)・8 日(月)	3 月 4 日(木)
検 査	1 月 27 日(水)	2 月 23 日(火)	3 月 9 日(火)
合格発表	2 月 2 日(火)	3 月 1 日(月)	3 月 12 日(金)

入試制度の詳細は東京都教育委員会のホームページ等で御確認ください。

【平成 22 年度都立特別支援学校入学相談日程】

	前 期	後 期
入学願書受付	11 月 4 日(水)～6 日(金)	12 月 7 日(月)～9 日(水)
入学相談	11 月 14 日(土) 相談内容:作文、面接	12 月 19 日(土) 相談内容:学力調査、作業能力調査、作文、面接
入学許可予定者発表	11 月 26 日(木)	1 月 7 日(木)

入学を希望される方は、特別支援教育推進室(4 ページ掲載)にお問い合わせください。

教育委員会の動き

1 教育委員会の開催状況

平成21年2月から6月までに、第3回から第11回までの9回の定例会と1回の臨時会を開催し、35件の議案と32件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものを御紹介します。

- <議案>**
 - 東京都公立学校教員研修体系の再編・整備に係る基本方針の策定について
 - 平成20年度東京都指定文化財の指定等について
 - 第二次東京都子供読書活動推進計画について
 - 平成21年度使用都立特別支援学校（小・中学部）用教科書及び都立高等学校用教科書の採択について
- <報告>**
 - 平成21年度の主要施策について
 - 平成20年度東京都児童・生徒の体力テスト調査結果について
 - 「平成21年度スポーツ教育推進校」・「平成21年度国体強化部活動候補」の指定について
 - 子供の体力向上推進本部の設置について
 - 新型インフルエンザ発生に伴う対応について
 - 学校非公式サイト等の監視の実施について

2 その他の活動

- 都内公立学校長と、2回の意見交換を実施しました。
- 教育委員懇談会（集中討議）を実施しました。
- 4月9日、13日に、区市町村教育委員会委員や公立学校長を対象に、教育施策連絡会を開催しました。東京都教育委員会の各委員のほか、13日には石原都知事も出席されました。
- 都立学校の平成20年度卒業式・閉校式、平成21年度入学式に参加しました。
 - <卒業式・閉校式>
九段高等学校・日比谷高等学校（高坂委員）
市ヶ谷商業高等学校・王子工業高等学校（竹花委員）
 - <入学式>
青峰学園（木村委員長）
大田桜台高等学校・白鷗高等学校・白鷗高等学校附属中学校（高坂委員）
青山高等学校（瀬古委員）

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。

学校問題解決サポートセンターを開設しました

学校の指導や運営に関する要望がある場合には、保護者等が、担任の先生や管理職と相談して、実際の状況を確認しながら、子供のことを最優先に考えて双方が納得できる対応策を話し合うことが大切です。しかし、中には双方が話し合いを重ねても、容易に解決しないこともあります。

そういった解決が難しい案件の相談を受け付けるため、東京都教育委員会は、4月に、学校問題解決サポートセンターを開設しました。

サポートセンターは、子供にとって何が大切かを第一に考え、公平・中立の立場で対応することを基本方針としています。

特に解決が難しい案件については、保護者等と区市町村教育委員会（都立学校の場合は学校経営支援センター）双方の合意の下、専門家等で構成する会議において双方の意見を聞き、よりよい解決策を提示し、解決に向けて支援します。

専門家等会議の構成

弁護士	3名
精神科医	3名
臨床心理士	1名
警察OB	1名
行政書士	2名
民生・児童委員代表	3名
保護者代表	1名



お問い合わせ
御相談

電話番号 **03-5800-0081**
 相談時間 平日 9:00～17:00（土日祝日、閉庁日、年末年始を除く。）
 場所 東京都文京区本郷1-3-3 東京都教職員研修センター内（JR・都営地下鉄三田線「水道橋」駅 徒歩2分）

話してみよう あなたの心配

～東京都教育相談センターの御案内～

子育て、いじめ、不登校など

電話 **03(5800)8008**
 メール <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
 ＊ホームページから御利用ください。

平日：午前9時から午後9時まで
 土日祝日：午前9時から午後5時まで
 その他の時間は、留守番電話で対応します。

いじめ相談 ホットライン

電話 **03(5800)8288**
 <24時間受付>

高校進級・進路・入学相談

電話 **03(5800)4175**
 <専用ダイヤル>

平日：午前9時から午後9時まで
 土日祝日：午前9時から午後5時まで
 その他の時間は、留守番電話で対応します。

東京都教育相談センター

〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-3 東京都教職員研修センター内

東京都立特別支援学校への 就学・入学相談等について

「東京都特別支援教育推進室」は、東京都の特別支援教育を推進するセンターとして平成20年4月に設置されました。「東京都特別支援教育推進室」では、主に、障害のある幼児・児童・生徒の「就学や入学、転学や編入学」の相談を行っています。

就学予定のお子様で、居住する地域の区市町村教育委員会における就学相談を受けた結果、「都立特別支援学校での就学が適当」と判断されたお子様及び保護者に対して、都立特別支援学校と連携して、あらためて就学相談を行い、就学先を決定します。

また、東京都では、病気で長期入院の必要な児童・生徒に対して、病院内教育を行っています。関係する肢体不自由特別支援学校と連携して、転学相談を行い、病院内でのお子様の教育を保証しています。

さらに、都立特別支援学校幼稚部及び高等部の入学相談についての情報提供も行っています。

なお、都立特別支援学校の就学相談・入学相談については、以下の連絡先にお問い合わせください。

東京都 特別支援教育推進室

所在地 ● 〒162-0817 東京都新宿区赤城元町1-3
 電話 ● 03(5228)3433
 ファクシミリ ● 03(5228)3459
 Eメール ● soudan@shugaku.metro.tokyo.jp
 HP ● <http://www.shugaku.metro.tokyo.jp>

